

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

短 歌

名残惜し七年間も働けり

●宮古市 太田屋滋

庭に植えたる花ぞ良く咲け

五時起きてポスト覗けば休刊日

いつもと違う朝の始まり

●戸田市 栗原ハツ江

雨あがりビルの向うに虹をみる

浮雲と消え七色溶けて

●松戸市 秋元輝美

シルバーの事務所の人は忙しなく

コロナ禍負けぬ皆を<sup>いたわ</sup>る

●小金井市 飯田勝巳

庭先に<sup>こぶし</sup>辛夷の花とサクランボ

仲良く開花自肅に癒し

●狛江市 根方一吉

春が来た緑地公園10日の日

桜の開花薄い桃色

●羽村市 中 新一

クラブ振り共に楽しむ仲間去り

過ぎ行く時に仰ぐ大空

●平塚市 田中博由

枯木にもつぼみふくらみひなまつり

紅白の梅忘れずに咲き

●甲賀市 中島稔子

俳 句

梅の香に誘われそつと目をとじる

●小山市 塚野 京

天神の鳥居くぐりて梅の花

●本庄市 長谷川千鶴子

五月晴岸に居並ぶ太公望

●草加市 長谷部禎子

薄れたる名札の文字や梅ひらく

●戸田市 篠崎志津子

水温む亀の欠伸や首伸ばす

●東京都大田区 小池弘一

竹の子の酢味噌和へにて独酒かな

●東京都練馬区 山口昭義

長葱は風の申し子春浅し

●立川市 浅見 眞

道祖神頬笑んで見る雪の空

●塩尻市 大家協治

川縁の穂先弾けり猫柳

●塩尻市 奥原光夫

熱々の鍋焼うどんかこみけり

●塩尻市 小野正平

日だまりの土を巻きあげ春一番

●塩尻市 永原良子

日を集めほとばしる水福寿草

●塩尻市 町田まさ子

さくら咲き春が一拳に訪れし

●可児市 井戸和秋

遠目には雪積もるごと白木蓮

●富士市 鈴木節子

到来の水掛け菜の香卓に春

●富士市 村瀬米子